

日本の子供たちは起業家精神DNAが旺盛だ

むら ぐら かぜ たか
村口和孝

日本テクノロジーベンチャーパートナーズ
(NTVP)投資事業組合ベンチャー
キャピタリスト 昭59 経

HP: <http://www.ntvp.com/>

日本人はその国民性からベンチャーを
起業することが難しい、とされる世間の
論調には大いに欺瞞を感じる。

私は一九九八年春、十四年間好成績で
勤めた大手証券系ベンチャーキャピタル
を、私費イスラエル旅行直後に退職した。

「社会創造性の源は、会社組織に非ず、
個人の独立自尊精神にある」という悟り
に、三十九歳エルサレムの聖地に立ち、
やつと到達し得た。

その年の十一月、日本初の独立個人型
のベンチャー投資NTVP事業有限責任
組合を堀場製作所会長（個人出資）らの
参画を得て設立した。創立理念は業界に
おいて全く斬新なものとなった。

投資条件は、①日本発（外国物でない）、
②強力な技術力、③ゼロまたは事業立ち
上げ期ベンチャー、④独立個人の主体性
を重視したハンズオン投資（役員就任）、
と従来型を一新した。以来ゼロから技術

ベンチャーを応援し、XMLシステム開
発のインフォテリア、大学連携の窒化ガ
リウム素子開発のナイトライドセミコン
ダクターなどが生まれた。

このベンチャー立ち上げ支援ノウハ
ウを社会貢献活動に投入し、毎年行つて
いるのがNTVP少年少女起業体験プロ
グラムである。九九年大田区池上本門寺
で実施してから数えて今年で四年目とな
る。

まず小学校高学年、中・高校生が約五
人一組のチームに分かれ、独自の事業計
画を作成。大学生扮する一日ベンチャー
キャピタリスト（投資家）に発表し説得
する。子供起業家たちは自分で出資し（千
円程度）社長を決めて、会社を設立登記。

その上で学生投資家に数万円の株券を発
行し、めでたく必要準備資本を獲得する。
次に街に出て資本（現金）を使い仕入
活動（領収書に化ける）。さらに街の祭

り会場等で店開きをして販売を實行。売
値変更は無論自由である。終了後現金を
数え決算書を作成。本物の会計士に監査
証明書を発行してもらい株主総会で営業
報告。納税（義捐金等に寄付）した後、
利益配当して会社を解散する。

優秀な会社は出資金が五倍以上になる
高配当。駄目な会社は赤字になり元本割
れ。分配は利益を持株に応じ公平、最初
から競争原理がはたらいっている（ガリ勉
が優秀とは限らない）。

実施して毎回驚かされるのは、子供た
ちの資本主義経済・会社設立活動に対す
る理解の早さ・自然さと、状況変化への
適応能力の高さである。この体験から日
本の大人たち、とりわけエリートと言っ
ている「日本人は元来保守的で起業家精
神が乏しい」という発言がいかにか事実か
ら乖離した「言い訳の類」であるか、毎
回思い知らされる。